

会 議 録 （要 旨）

会 議 名	武蔵村山市環境審議会
開 催 日 時	平成26年12月4日（木）（午後3時～午後4時55分）
開 催 場 所	301会議室
出 席 者 及 び 欠 席	出席者：柳下佳仁会長、熊木正好副会長、吉田洋市委員、高木宏友委員、田島せつ子委員、中山忠委員、加藤大明委員、川島修委員、菅原淳子委員（9名出席） 欠席者：梅村清委員（1名欠席） 事務局：廃棄物・下水道担当部長、環境課主査（環境保全グループ）、環境課主任（環境保全グループ）、環境課主事（環境保全グループ）、委託調査会社（5名出席）
議 題	1 平成25年度武蔵村山市環境基本計画に基づく報告書（武蔵村山市年次報告書）の環境指標及び環境施策の点検・評価について 2 武蔵村山市第二次環境基本計画策定について 3 その他
配 布 資 料	・次第 ・平成25年度武蔵村山市環境基本計画に基づく報告書（武蔵村山市年次報告書） ・武蔵村山市第二次環境基本計画の策定について ・市民アンケート集計結果 ・事業者アンケート集計結果
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	議題1：環境審議会委員が「平成25年度武蔵村山市環境基本計画に基づく報告書（武蔵村山市年次報告書）」の事業実施報告及び重点的取組実施報告について審議した。審議した結果、会議の時間内で、点検・評価が全て終了したため、今後、市長へ答申することとした。 議題2：配布資料について説明し、次回の環境審議会では素案を提示し、改めて審議していただくこととした。 議題3：開催時期についてお知らせした。
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。) (○=委員、 ●=事務局等)	議題1 平成25年度武蔵村山市環境基本計画に基づく報告書（武蔵村山市年次報告書）の環境指標及び環境施策の点検・評価 【説明要旨：平成25年度武蔵村山市環境基本計画に基づく報告書（武蔵村山市年次報告書）を参照】 【主な意見等】 ●平成25年度武蔵村山市環境基本計画に基づく報告書（武蔵村山市年次報告書）の環境目標1～3までの変更箇所について説明。 ○8ページ、環境施策の方向と市の取組の5段目及び12ページ、環境施策の方向と市の取組の4段目について、平成26年度以降調整していく旨を記載していただきたい。 ●8ページ、環境施策の方向と市の取組の5段目については、「未実施（社寺林の保全は所有者や檀家によって行われているため、現在、保全策の検討は行っていないが、今後、緑化審議会へ社寺林の保全策について議題として採り上げるよう、平成26年度以降、調整していく予定）」と変更することとした。また、12ページ、環境施策の方向と市の取組の4段目については、「未実施（動植物の実態調査を支援するような取組は行っていないため、今後、当該事業を実施するよう、平成

26年度以降、検討していく予定)。」と変更することとした。

○12ページ、環境施策の方向と市の取組の4段目、未実施で評価がDとなっていることについて、場所を提供することも支援していることに当たっているのではないか。

●当該項目の主管課へ確認した際に、都市公園区域の場所を一部提供していることのみであるため、支援とはならないのではないかと説明があったため、未実施としている。

●平成25年度武蔵村山市環境基本計画に基づく報告書(武蔵村山市年次報告書)の環境目標4～6までの変更箇所について説明。

○武蔵村山市環境審議会に関連する委員会や部署はどれだけあるのか、武蔵村山市第二次環境基本計画策定時に本計画の中に記載していただきたい。

●検討することとした。

○17ページ、環境施策の方向と市の取組の7段目、「街路灯及び防犯灯を82基LEDに交換。(市内の街路灯及び防犯灯は約5000基あり、その内LED化しているのは459基、LED化率は約9%になる。)」と記載されているが、いくつ設置するか等の目標はあるのか教えていただきたい。

●平成26年度も25年度に引き続き、街路灯と防犯灯のLED化を進めていき、市内全域の防犯灯のLED化を完了させる目標がある。

○環境基本計画を作成した当初では、LED化を進めるということが目標だったのではなく、街路灯を適切に設置するというのが目標であり、LED化の話は付随してきた事柄であると思うが、どうなのか。

●委員のおっしゃるとおりである。また、街路灯等のLED化は補助事業として実施している。

○街路灯等をいくつ設置しなくてはいけないか等の目標や計画があるのか教えていただきたい。

●設置数等の目標はなく、地域の環境の変化に合わせて設置している。

○要望すれば、設置できるのか。

●市民から要望があれば、設置できるよう努めている。

○14ページ、環境施策の方向と市の取組の2段目、「未実施。(今後、緑化審議会において、生け垣奨励助成制度の指定基準及び補助金等の見直しを審議する予定。)」では、緑化審議会のことについて記載されているがどういう審議会なのか教えていただきたい。

●緑化審議会は、市長の諮問機関であり、都市整備部道路公園課が事務局を務めており、この審議会の目的は、市内のみどりの保護及び育成を図り、もって市民の健康で快適な生活環境を確保することを目的としている。

●平成25年度武蔵村山市環境基本計画に基づく報告書(武蔵村山市年次報告書)の環境目標7～9までの変更箇所について説明。

○21ページ、環境指標の2段目、「地下水の環境基準の達成状況」について、前回の会議では、多摩環境事務所に再度対応を確認するとのことであったがどうだったのか教えていただきたい。

●多摩環境事務所に確認したところ、都の地下水水質測定計画で年に一度の継続監視を行うよう定められているとのことであり、今後も年に一度の継続監視を行うよう説明があった。また、対象地が個人の土地であり、調査回数を増やすことが困難であるため、最低でも年に一度の監視を継続していくこととした。

○25ページ、環境施策の方向と市の取組の2段目、「都や周辺市町と連携して、横田基地や立川基地周辺の航空機騒音防止対策を進めます。」

では、横田基地反対運動をしている方々もいることから、記載内容には地域の方々に配慮した文書を記載することが望ましいのではないかと。

- 今後、記載内容には十分注意していくこととした。
- 横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会では、どの自治体が参加しているのか教えていただきたい。
- 東京都、立川市、昭島市、福生市、武蔵村山市、羽村市、瑞穂町である。
- 立川基地飛行場環境対策会議では、どの自治体が参加しているのか教えていただきたい。
- 本会議の中では、手元に資料がないため、回答できない。
- 34ページ、環境施策の方向と市の取組の3段目、「こどもエコクラブの設立や活動を支援します。」では、こどもエコクラブの設立趣旨を子どもにも理解できるよう募集していかなければ集まらないのではないかと。
- 子どもに対してわかりやすいようなパンフレットを作っていたらいいように、エコクラブ全国事務局に対して要望していくこととした。
- 36ページ、「5. 重点的取組実施報告」については、前回の会議で質問がなかったため、省略することとした。
- 以上、質疑がないため、今回の意見を取り込み、年次報告書を変更し、まとめて答申することとしたが。
- 結構である。今回の意見を踏まえ報告書を修正し、市長に答申することとした。
- 議題1の「平成25年度武蔵村山市環境基本計画に基づく報告書（武蔵村山市年次報告書）の環境指標及び環境施策の点検・評価について」は終了とする。

○議題2 武蔵村山市第二次環境基本計画策定について

- 委員へ配布した資料について、委託調査会社が説明。
- 【主な意見等】
- 資料1では、今後のスケジュールが記載されているが、このメンバーで議論するのは8月までということか。
- スケジュールはあくまで予定である。次回は2月の開催を予定している。また、平成27年度の第1回は6月となっているが、もう少し開催を早めたいと考えている。
- 質問の意図は、私たちの任期は9月30日になっており、それまでに答申は出来るのか。
- 答申は、11月を予定している。皆様方のご意見と次期委員の方々のご意見を踏まえて考えていきたい。
- 資料1の「2. 環境基本計画の位置づけ」で、武蔵村山市第四次長期総合計画を上位計画と記載されている。この総合計画は、いつ策定されて、どう周知されているのか。
- 平成23年度末に策定し、目標年度は平成32年となっている。また、総合計画も含めた計画は市のホームページで検索が出来るようになっている。
- 今年度、次回は2月頃に審議会が開催される予定となっているが、その際には素案は出来ているのか。どのような予定をされているのか教えていただきたい。
- 今年度は、ご審議していただいた年次報告書、今回ご報告したアンケート結果や国の動向等を勘案した基礎調査報告書を作成する予定となっております。今後、基礎調査報告書（案）を元にご議論していただくよう検討

している。

○これまでの計画の中で、条例等の関係から継続的に実施する取組や、計画の中で積み残している取組があると思うが、それらも新しい計画に盛り込むのか。

●計画の進み具合や年次報告書での評価、また、全く手がついていないもの、もうなくてもよいだろうと思うものなどあると思うが、それらを精細し、次の計画に盛り込んでいきたいと考えている。本日は、まだ基礎調査報告書も出来ていないため、詳細な報告は次回以降となる。

○2月開催予定の審議会では、基礎調査報告書の素案はあるのか。

●次回の審議会では基礎調査報告書（案）をご覧いただき、ご意見いただきたいと考えている。

○基礎調査報告書は、本日報告されたアンケート結果も反映した上で作成されるのか。

●アンケート結果は、基礎調査報告書（案）に反映していく予定である。

○本計画はこれからの10年間について考えるべきものであり、そうすると、新しい考え方も大事だと考えるが、事務局側では、どのような考え方で、基礎調査報告書（案）を作成しようと考えているのか、基本的な考えのすりあわせをさせていただきたい。また、基礎調査報告書は環境課が作成するのか、調査会社が作成するのか教えていただきたい。

●環境課、調査会社、調整しながら作成していく予定である。

○アンケート結果の中で、市民でも事業所でも「特に関心のある環境問題」として、「地球温暖化による気象の異変や砂漠化」や「資源・エネルギーの浪費や枯渇」の関心が高まっているとあった。これは、人との調和、自然を大切にしていきたいと考えた場合、地球環境が壊されている、そしてどう守っていくのかということだと考える。現在、国は、「水素社会」ということも打ち出しており、水素社会になれば、二酸化炭素排出も減少され、燃料電池車や燃料電池を使った住宅も出てくるだろう。これからの10年、地球温暖化の進行を抑えていくためには、そのような設備や考え方も重要であり、市単独で出来ることではないので、国や東京都が主体となり、制度改革をしていくことになると考えられ、市のあり方も変化していくことになるのではないかと。例えば、燃料電池車を利用するためには水素ステーションが必要となる。今、国が助成をして何千か所と作ろうとしているが、武蔵村山市も積極的に取り組んでいくことも大切だと思う。そのような中で、武蔵村山市が出来ることを考え、答申をしていただきたい。

●時代にあった計画を考えていくこととする。

○本計画が10年ということであり、上位計画の武蔵村山市第四次長期総合計画が平成32年度までである。本計画は37年度までなので、5年で見直しを行うということになるのかと思うが、5年間の進行管理の仕組みが気になる。また、環境の取り組みについて行政が主体的にやるということも重要だが、市民、事業者の方々にどのように協力してもらい、どのように行動してもらうのかということが年次報告書を読んでも見えないところがある。アンケート調査でも、「情報提供が少ない」という意見もあったが、どのように働きかけていくのかという点は、課題として見えてきていることではないかと思う。プログラムをたくさんつくることが重要だと思っているわけではなく、行政が主体になるものだけでなく、市民、事業者へどのように働きかけていくのかという視点を加えていただければ良いと考える。

●項目が多いという現状もあるため、今後、検討して、より良いものにしていくこととする。

- 項目毎に担当課名を記載していただきたい。また、行政と市民が一緒に行うものについては、推進母体はどこなのか、事業者が行うものは事業者と主体を明示し、項目ごとに誰が責任をもって行うのか明確にしてもらった方が一番わかりやすいのではないかと考える。また、化学物質の関係、PM2.5の問題、PRTR 制度で報告されている事業者が市内どれくらいあるのか、VOC の管理をしなければならない事業者がどれくらいあるのか、また、今後どのようにしていくのか検討していただきたい。
- 今後、検討していくこととする。ただし、PM2.5の問題は国内だけでの問題ではないと捉えている。
- PM2.5を排出している事業者もいると思うが、残念ながら計測されていないのが現状である。
- 武蔵村山市内にメッキ会社などはあるのか。
- あると考える。おそらくそのような会社はしっかり管理していると考えますが、その他の事業所などで管理出来ていないことがある。長期的に計画する場合は、東京都の施策があり、それを受けて武蔵村山市の計画を立てられると思うが、それが分かるように説明の際に補足していただくと委員も分かりやすい。そのような説明の資料を用意していただきたい。
- 環境基本計画はこれまで10年間取り組まれているので、PDCA の C から始めたらどうか。現状分析をしっかり行い、目標を決めていく、そういう段階に来ていると考える。現状分析をしっかりすれば目標が妥当なのかどうかも良く分かる。例えば、「市の公用車を低公害車にする」という目標について、管理している公用車各車の燃費や排出ガスについて改めて整理し、古いものから更新していくなどが見えるような資料あると助かる。
- 出来る限り、ご希望に添うような資料を添えて、基礎報告書（案）を提示させていただきたい。
- 市民アンケート、事業所アンケートについてお聞きしたい。このアンケートは、平成16年度からの経年変化を見るものであったと思うが、説明の際に、10年経って、新たな項目を加えられたという説明があった。一方、平成16年度のアンケート設問にあって、今回のアンケート設問では設定しなかった設問があれば、次回で結構なので教えていただきたい。
- 次回、資料提供を行う。
- 長期計画ということだったが、今、環境を取り巻く情勢はめまぐるしく変わるので、短期、中期、長期と分けて段階的に計画を検討してはどうか。
- 5年や1年でも良いかもしれない。
- 市民アンケートの中で、回答者の居住地について「大南地区」からの回答が多いが、これは回答者の地区割合か。配布数の地区別割合が分かれば教えていただきたい。
- 次回、資料提供を行う。
- その他
- 本会議の会議録（要旨）で、委員は個人名だが、事務局や氏名がなく役職名のみとなっている。これは決まりなのか。
- 役職名で出席されている方と個人名で委嘱されている方の違いではないか。
- 確認して、次回、回答を行う。
- 以上、質疑応答がないため、議題2の「武蔵村山市第二次環境基本計画策定について」は終了とする。

